吉井川水害タイムライン運用方法 ≪試行運用版≫ (案)

吉井川水害タイムライン検討会

改訂履歴

改訂年月日	改訂内容/理由
2019.8.27	案作成

目 次

1	はじめに	1
	(1) タイムラインとは	1
	(2) タイムラインの検討の経緯	2
	(3) タイムライン運用方法の構成	3
2	タイムライン作成過程で想定する災害タイムライン	4
3	タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除	5
4	出水時の対応および記録	7
5	メーリングリストを利用した情報発信	8
	(1)メーリングリストの目的	8
	(2)メーリングリストのアドレス・加入機関	9
	(3) メーリングリストの運用方針(案)	10
6	振り返りの実施	14

巻末資料:想定災害シナリオ

1 はじめに

(1) タイムラインとは

「タイムライン」とは、住民の命を守る、さらに経済被害を最小化することを目的に、「いつ」「何を」「誰が」の3つの要素を、防災に係わる機関が連携し、災害に対するそれぞれの役割や対応行動をあらかじめ定めたもので、全国で検討・運用が進められています。タイムラインを導入することにより、災害対応の抜け、漏れ、落ちの確認が可能となること、「先を見越した対応」が可能となること、関係機関との協働作業で「顔の見える関係」が構築され、「相互の役割分担」が明確になること等の効果が期待できます。

(2) タイムラインの検討の経緯

平成30年7月豪雨を踏まえ、平成30年7月25日に吉井川水害タイムライン検討会を発足し、勉強会を1回、検討会を3回実施し、令和元年8月に吉井川水害タイムライン《試行板》をとりまとめました。

吉井川水害タイムライン《試行板》を、台風期に運用するとともに、振り返り、改善、修正を加えることで、吉井川水害タイムライン《令和2年度版》に向けたとりまとめを行います。

令和元年6月11日 吉井川水害タイムライン勉強会 "吉井川の水害特性の把握、タイムラインの説明、今後の進め方"

連携するライフライン機関・交通機関・報道機関の抽出(関連市町村)

■事前準備(事務局)吉井川流域に影響のある水害リスクの整理 (本川外水、支川外水・内水、高潮、土砂災害)の抽出

令和元年7月25日 吉井川水害タイムライン検討会 (発足式・第1回) "座長選任"、"グループワーキング"(水害リスクの確認、自機関の水害リスク別の重点行動項目の整理)

■事前準備(事務局)「水害シナリオ」、「タイムライン(素案)」の作成

令和元年8月8日 吉井川水害タイムライン検討会(第2回) "グループワーキング"(水害シナリオの確認と対応行動のトリガー、行動の連携機関の確認)、 "全体ワーキング"(全体で役割分担や調整事項を合意形成)

> 令和元年8月27日頃 吉井川水害タイムライン検討会(第3回) タイムライン(試行版)の全体共有と運用方法の確認、読み合わせ 「吉井川水害タイムライン(試行版)」のとりまとめ

「吉井川水害タイムライン(試行版)」の試行運用(台風期:9月2日~予定)

令和元年11月頃 吉井川水害タイムライン検討会(第4回) 吉井川水害タイムライン(試行版)の振り返り、改善事項の確認

令和元年12月頃 吉井川水害タイムライン検討会(第5回) 「吉井川水害タイムライン(令和2年度版)」に向けたとりまとめ

以降、振り返り、改善、運用を継続的に実施する。

図 1 吉井川水害タイムライン検討の経緯

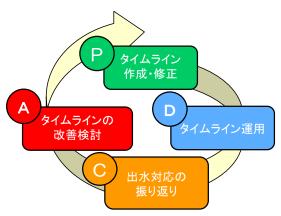


図 2 PDCA サイクルのイメージ

(3) タイムライン運用方法の構成

本手引きは、タイムラインを出水時に運用するあたり実施すべき手順(タイムラインへの 記録方法やメーリングリストの使い方)を示したものです。

手引きは、以下のような構成となっています。

表 1 タイムライン運用方法の構成

構成	概要	場面
1. はじめに	これまでの経緯やタイムラインの構 成について記載	_
2. タイムライン作成過程で想定する災害シナリオ	タイムラインを検討する上での前提 条件となった想定災害シナリオの説 明を記載	_
3. タイムラインの立ち上げ・レベ ル移行・解除	「タイムラインの立ち上げ」、「レベルの移行」及び「タイムラインの解除」 の判断に必要な情報・状況を記載	
4. 出水時の対応および記録	タイムライン【詳細版】 (記録用) へ の記入方法について記載	出水期
5. メーリングリストを利用した情 報発信	メーリングリストで発信するべき内 容や発信例について、記載	
6.振り返りの実施	タイムライン運用後の振り返りの実 施方法について記載	出水期後
巻末. 想定災害シナリオ (自治体別)	自治体毎の想定災害シナリオを記載	_

2 タイムライン作成過程で想定する災害タイムライン

吉井川水害タイムラインの検討は、近年の洪水の中で特に出水規模が大きく、甚大な浸水被害(外水・内水)が発生した平成10年10月洪水を想定する洪水波形としています。

■想定災害シナリオ(各自治体の想定災害シナリオは巻末資料に収録)

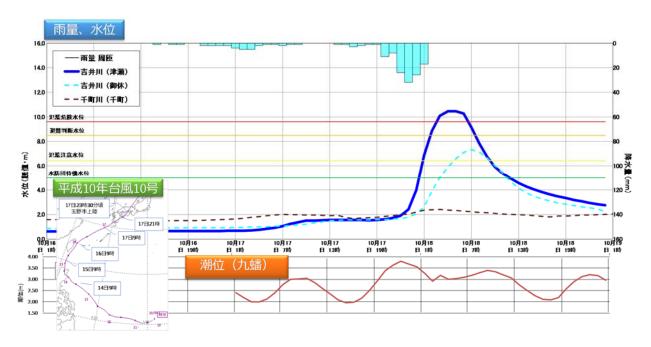


図 3 想定被害シナリオ波形

3 タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除

タイムラインレベルは、気象予警報、河川情報等により設定されており、防災行動を実施 するための基準 (トリガー)となるものです。

以下の通り、タイムライン立上げ・レベル移行・解除を実施し、意思決定及び通知を行います。

- ① 吉井川水害タイムラインは、台風や前線性の豪雨により吉井川水系で大規模な洪水が発生する恐れがある場合に立ち上げます(局地的大雨のような一過性の降雨による、局地的な浸水被害・土砂災害については各市町村が判断)。
- ② 早期注意情報(警報級の可能性)や、気象予警報、水位状況に応じて順次タイムラインレベルの移行(引き上げ、引き下げ)を行います。(下表参照)
- ③ タイムラインの立上げ(レベル 0)は、水系全体としての判断となるため、岡山県、岡山地方気象台、岡山河川事務所で協議・意思決定しメーリングリストにより通知します。
- ④ タイムラインレベル1以降は、自治体ごとにレベルの時差が生じるため、岡山県・岡山地 方気象台・岡山河川事務所から発表される警戒レベル相当情報やホットライン等の助言を 踏まえ、各自治体が意思決定しメーリングリストにより通知します。
- ⑤ 被害が発生しなかった場合は、下表の基準に準じて引き下げを行います。なお、水位が水 防団待機水位を下回り、かつ大雨警報及び洪水警報が解除された場合はタイムラインを解 除します。
- ⑥ 被害が発生した場合 (レベル 5 に到達した場合) は、応急復旧や救助活動が収束するまで レベル 5 を維持し、応急復旧や救助活動が収束した段階でタイムラインを解除します。

タイムライン	警戒レベル		警戒レベル相当情報等					
レベル	■無レベル	洪水	内水	高潮				
レベル0-1 (3日前準備)	-	・台風:3日後に台風が吉井川流域 ・前線:早期注意情報(警報級の						
レベル0-2 (2日前準備)	_	・台風:2日後に台風が吉井川流域 ・前線:早期注意情報(警報級の						
レベル1	警戒レベル1	・早期注意情報(翌日までの警報)	早期注意情報(翌日までの警報級の可能性) 【目安:1日後に影響】					
レベル2	警戒レベル2	・氾濫注意情報・洪水注意報・洪水警報の危険度分布(注意)	・洪水注意報 ・洪水警報の危険度分布(注意)	・高潮注意報				
レベル3	警戒レベル3	・氾濫警戒情報・洪水警報・洪水警報の危険度分布(警戒)	・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒)	・高潮警報に切り替える可能性が 高い注意報				
レベル4	警戒レベル4	・氾濫危険情報 ・洪水警報の危険度分布(非常に 危険)	・洪水警報の危険度分布(非常に 危険)	· 高潮警報 · 高潮特別警報				
レベル5	警戒レベル5	・氾濫発生情報 ・大雨特別警報(浸水害)	· 大雨特別警報(浸水害)	・高潮氾濫発生情報				

岡山県、岡山地方 気象台、岡山河川 事務所が意思決定 し、メーリングリ ストにより通知

岡山県、岡山地方気 象台、岡山河川事務 所から発表される情 報、助言を踏まえ各 自治体が意思決定し、 メーリングリストに より通知

(レベル1以降は、 自治体ごとに気象予 警報の発表状況や避 難勧告等の発令状況 が異なるため)

図 4 タイムラインレベル移行基準と移行方法

表 2 タイムラインレベルと警戒レベルの関係

タイム ライン レベル	タイムライン レベル0-1 (3日前準備)	タイムライン レベル0-2 (2日前準備)	タイムライン レベル1	タイムライン レベル2	タイムライン レベル3	タイムライン レベル4	タイムライン レベル5
警戒 レベル	-	-	警戒レベル1	警戒レベル2	蓍戒レベル3相当	蓍戒レベル4相当	蓍戒レベル5相当
目標	内部調整	機関調整	地域調整	避難準備	早期避難(内水・外水)	避難(高潮・外水)	緊急対応
洪水 (洪水予 報河川)	台風:3日後に 台風が吉井川流 域に影響するお それ	台風:2日後に 台風が吉井川流 域に影響するお それ	 早期注意情報(翌日までの警報級の可能性)【目安:1日後に影響】 	• 氾濫注意情報	• 氾濫警戒情報	• 氾濫危険情報	• 氾濫発生情報
洪水 (水位周 知河川)		前線: 早期注意 情報(警報級の 可能性) 【目 安:2日後に影響		氾濫注意情報 洪水注意報 洪水警報の危険度 分布(注意)	・氾濫警戒情報・洪水警報・洪水警報の危険度分布 (警戒)	氾濫危険情報洪水警報の危険度分布(非常に危険)	• 氾濫発生情報 • 大雨特別警報(浸水 害)
内水				洪水注意報洪水警報の危険度 分布(注意)	洪水警報洪水警報の危険度分布 (警戒)	洪水警報の危険度分布(非常に危険)	• 大雨特別警報(浸水書)
高潮				• 高潮注意報	• 高潮警報に切り替える 可能性が高い注意報	• 高潮警報 • 高潮特別警報	• 高潮氾濫発生情報

※タイムラインレベルごとの事象と気象情報、河川情報、避難情報の発表のタイミングは出水により前後する可能性がある。

警戒 レベル	-	-	警戒レベル1	警戒レベル2	蓍戒レベル3相当	警戒レベル4相当	蓍戒レベル5相当
避難情報	_	_	-	-		非常に危険:避難勧告 極めて危険:避難指示	_
土砂災害	_	_			• 土砂災害に関するメッ		

【参考:早期注意情報(警報級の可能性)について】

早期注意情報(警報級の可能性)は、警報級の現象が5日先までに予想されているときに、その可能性を[高]、[中]の2段階の確度を付して発表されます。(平成29年度出水期より)



4 出水時の対応および記録

各機関は、タイムライン【詳細版】にもとづき出水時の対応を行うことになりますが、その時にあわせて(記録用)に、出水時の対応を記録して下さい。

A. 「チェック欄」

行動項目に漏れがないよう、実施した行動についてチェックをつけます。

B.「実施状況チェック欄」

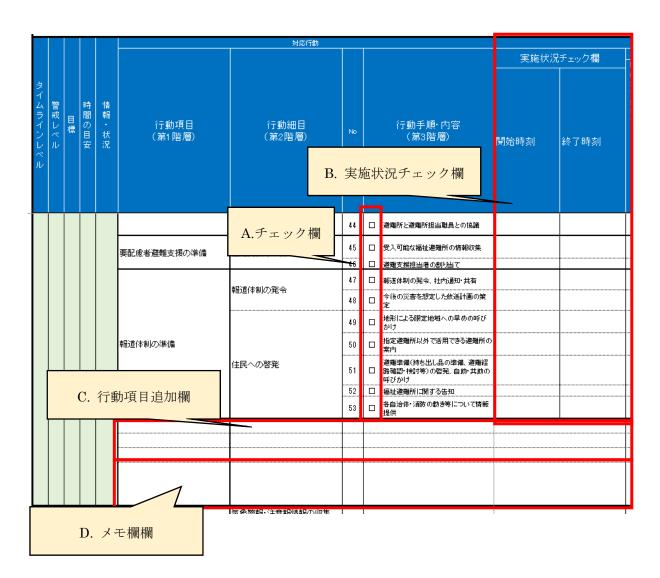
行動開始時刻と終了時刻を記入します。

C.「行動項目追加欄」

タイムライン記載以外で実施した行動を追記します。合わせて、対応機関、実施開始 時刻、終了時刻も記入します。

D.「メモ欄」

課題や改善点等を記入する欄として使用します。



5 メーリングリストを利用した情報発信

タイムラインを確実に運用するためには各機関の情報共有が不可欠であり、これを円滑に 行う手段としてメーリングリストの作成を行いました。検討会参加機関には、ここで定める メーリングリストの運用(案)に基づいたメーリングリストの活用をお願いします。

(1) メーリングリストの目的

- 実際の台風で吉井川水害タイムラインを確実に運用するために、タイムラインの立上げ・レベル 移行等の情報を共有する手段として活用します。
- 各機関が対外発表した内容をメール本文にURL等を記載し発信することで、受け取った関係機関はURLへアクセスするだけで最新情報を入手できます。

他機関は最新情報を入手・活用 中間地方整備局 アスポルボージが成本 本日の規制権を表示します(平均11所597まで) 本日の規制権を表示します(平均11所597まで) 本日の規制権を表示します(平均11所597まで) 本日の規制権を表示します(平均11所597まで) 本日の規制を表示します(平均11所597まで) 本日の規制を表示します(平均11所597まで) 本日の規制を表示します(平均11所597まで) 本日の規制を表示します(平均11所597まで) 本日の規制を表示します(平均11所597まで) 本日の規制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制権を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで) 本日の成制を表示します(平均11所597まで)

図 4 メーリングリストの活用例

(2) メーリングリストのアドレス・加入機関

メーリングリストのアドレスは以下の通りです。

@cgr.mlit.go.jp

▶ メーリングリストは、検討会参加機関37機関が対象となります。

(登録されているメンバーは別紙を参照)

岡山市、津山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、和気町、鏡野町、勝央町、奈義町、西栗倉村、美咲町、中国電力㈱ 岡山支店、(一社) 岡山県 LP ガス協会、岡山ガス㈱、津山ガス㈱、西日本電信電話㈱ 岡山支店、西日本旅客鉄道㈱ 岡山支社、(公社) 岡山県バス協会、中鉄北部バス㈱、 日本放送協会 岡山放送局、西日本放送㈱、㈱瀬戸内海放送、山陽放送㈱、テレビせとうち㈱、岡山放送㈱、㈱テレビ津山、岡山エフエム放送㈱、NPO法人つやまコミュニティFM、岡山県、岡山県警察本部、陸上自衛隊日本原駐屯地、NPO法人まちづくり推進機構岡山、気象庁 岡山地方気象台、国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所、国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所、国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所、国土交通省 中国地方整備局 西山河川事務所、国土交通省 中国地方整備局 西山河川事務所、国土交

全37機関 ※参加団体名は順不同

● メンバーの追加・変更登録が必要な場合は、岡山河川事務所にその旨を相談して下さい。

(3) メーリングリストの運用方針(案)

- メーリングリストを BCC で発信します。
- メーリングリストで発信する情報は、以下の通りとします。(具体は下表を参照)
 - ① タイムラインの運用に必要な情報
 - ② 住民の避難や被害に関する情報

<考え方>

- タイムラインを運用した対応は、各機関が必要な情報を収集し、関係機関間で情報交換を行いながら各機関で連携した対応を行うことが重要です。
- しかしながら、出水期においてタイムラインの運用を確実にするため、タイムラインの運用 開始のきっかけになる情報や住民の避難に係る重要情報は、確実に共有しておく必要がある と考えています。
- これらを踏まえ、当面は、「①タイムラインの運用に必要な情報」と「②住民の避難や被害 に関する情報」について、メーリングリストで情報共有を行うこととします。
- メーリングリストを活用すべき項目は、タイムラインの行動項目(第3階層)横にメールマークを表示しています。※【第3回検討会のグループワークを反映】
- なお、既存の情報伝達方法(例えば、FAX 通知等)がある場合は、それを使っていただい ても構いません。また、メーリングリストの使用は可能な範囲で結構です。

						対応行動																	
												[]			■					ダム			岡山県
タイムラインレベル	警戒レベル	目標	時間の目安	情報・状況	行動項目 (第1階層)	行動細目 (第2階層)	No	行動手順•内容 (第3階層)	岡山地方気象台	岡山河川事務所	高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所	岡山国道事務所	岡岡山県土木部河川課	岡山	(中国四国農政局・高梁川用水土地改良区)小阪部川ダム	危機管理課	土木部防災砂防課、河川課						
レベルの		内部調整	-72 h	• 4 3 日 期 注	情報の収集	気象・台風情報の収集【継続】	1	全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の確認		収	収	収	収	収	収	収	収						
3		Æ		に意 台情		気象警報・注意報情報の収集 【継続】	2	警報級の可能性の確認		収	収	収				収	収						
日前				風報やへ		岡山県、岡山地方気象台、岡山河	3	タイムラインの立上げ協議(レベル0(3 日前準備))	0	0						0	0						
準備				大警 雨報	TL立ち上げ(レベル0移行) の意思	川事務所による今後の方針の検 討		台風進路予測、早期注意情報等から 0hの設定	0	0						0	0						
				が級	決定		5	防災体制のスケジュールの設定	0	0						0	0						
				高の 梁可		意思決定の周知	6	TL立ち上げ(レベル0(3日前準備))の 周知	受	発	受	受	受	受	受	受	受						
				川能		10.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.	7	今後の方針の周知	受	発	受	受	受	受	受	受	受						
				流性域少			8	会議室の確保															
					※宝分等大部室の設置推構	※甲斗策 本部 年の 沿 器 推 体	۵	油終網の田音															

表 3メーリングリストで発信する情報

◎:発信する機関

								• / 🗆	п У <i>Г</i> о	124124
	発信する情報	岡山地方気象台	岡山河川事務所	岡山県	自治体	ダム管理者	道路管理者	鉄道	バス	報道
タイム	タイムライン立ち上げ (レベル 0) (タイムライン内部調整結果に含む)	0	0	0						
ラインの	タイムラインレベルの移行(レベル1以降)				0					
タイムラインの運用に係る情報	内水氾濫の発生				0					
る情報	堤防の決壊、氾濫発生情報		0							
	避難所の開設				0					
	避難準備・高齢者等避難開始発表の決定と発表 時期				0					
住民の	避難勧告・避難指示(緊急)発表の決定と発表 時期				0					
住民の避難や被害に関す	通行止め情報						0			
害に関す	ダム放流情報					0				
うる 情 報	運行停止、利用者の避難状況							0		
	バスの運休								0	
	現地取材により明らかになった被害状況									©

※【第3回検討会のグループワークを反映】

【発信例】

例1)タイムラインの立ち上げ及びレベルについて

件名:タイムラインの立ち上げ及びレベルについて

吉井川水害タイムライン検討会メンバー 各位

7月27日(金)午前9時に実施したタイムライン内部会議の調整結果を共有します。

■今後の気象情報

台風第12号は7月29日(日)午前6時頃(0hに設定)に吉井川流域に最接近することが 予想されます。

吉井川流域では7月29日(日)の早朝から猛烈な雨と風が予想されており厳重な警戒が必要です。

■タイムラインレベル

台風経路や今後の気象情報の予想からタイムラインを立上げ、レベル 3 に上げた対応を行います。

今後の台風情報にご注意し、行動してください。

■留意点

タイムラインレベル1、2で実施予定だった対応についても必要に応じてさかのぼって対応 をお願いします。

例 2) ゼロアワーの設定について

件名: 吉井川水害タイムラインの0hの設定変更及びレベルの移行について

吉井川水害タイムライン検討会メンバー各位

8月22日(水) 15時30分に実施した吉井川水害タイムライン内部会議の調整結果を情報共有します。

■今後の気象情報

・23日夕方から雨となり、夜遅くから台風本体の雨雲がかかり始め、24日にかけ非常に激 しい雨の降るおそれがある、今後の台風情報にご注意下さい。

■タイムラインの0h及びレベルについて

現在の台風進路予測より0hを8月24日(金)0時に設定変更し、8月22日(水)16時 現在レベル2とします。

※以上のことから、各関係機関については、レベル2までの行動状況について確認いただき、 今後レベルの移行等あれば必要に応じて報告します。

例3)タイムラインの解除について

件名:タイムラインの解除について

吉井川水害タイムライン検討会メンバー 各位

吉井川流域自治体に発表されていた全ての気象警報が解除され、吉井川の水位は全ての観測 所で水防団待機水位を下回っているため、本メールをもってタイムラインを解除します。

タイムラインは解除されますが、各関係機関で対応中または対応すべき行動がある場合は引き 続き対応をお願い致します。

例4) 通行止め情報

件名:○○道の通行止め

吉井川水害タイムライン検討会メンバー各位

○○では、大雨による道路冠水により○○道の○○~○○区間の間で通行規制を行いました。 最新の情報はホームページに公表しておりますので、ご確認をお願いします。

 $URL:_{_}$

例 5) 運行停止情報

件名:○○線 ○○駅~○○駅で運行停止

吉井川水害タイムライン検討会メンバー各位

○○では、大雨による鉄道施設の浸水被害により○○線○○駅~○○駅の間で運転を見合わせています。最新情報はホームページに公表しておりますので、ご確認ください。

URL:

例6) 現地取材により明らかになった被害状況

件名:【孤立者】

吉井川水害タイムライン検討会メンバー各位

○○テレビです。現地取材により、○○地区で浸水による孤立者が発生していることが分かりましたので共有します。取材の状況はホームページに公表しておりますので、ご確認ください。

URL:____

6 振り返りの実施

大きな出水があった場合は、各機関の行動記録をもとに振り返りを実施します。振り返りの結果をタイムラインに反映し次年度の出水期に備えます。振り返りの手順は以下の通りです。

- ① 出水対応を振り返るにあたり、当時のクロノロや防災計画を参考にしながら、「起きたこと」、「行ったこと」を振り返ります。検討会等ではテーブル等で共有します。
- ② 出水対応について、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」を、各自で抽出します。
- ③ うまくいったこと、うまくいかなかったことについて、グルーピングを行い、タイムラインの活用による効果やタイムラインの改善点を抽出します。
- ④ タイムラインの活動による効果や改善点をタイムラインに反映します。

Work1(振り返り)

STEP1 各自振返り

「いつ」、「どのような状況の中で」、「何を実施したか」自問自答

STEP2 グループ内発表 STEP1を1人1分で発表



Work2(検証)

「うまくいったこと」「うまくいかなかったこと」を、各自(機関・部署ごと)で付箋に書き出す

<u>Work3(グルーピング、改善点抽</u>出)

各自(機関・部署ごと)で考えた、うまくいったこと(今後も活かしたいこと)、うまくいかなかったことを、グルーピングし、タイムラインの効果やタイムラインの改善点を抽出

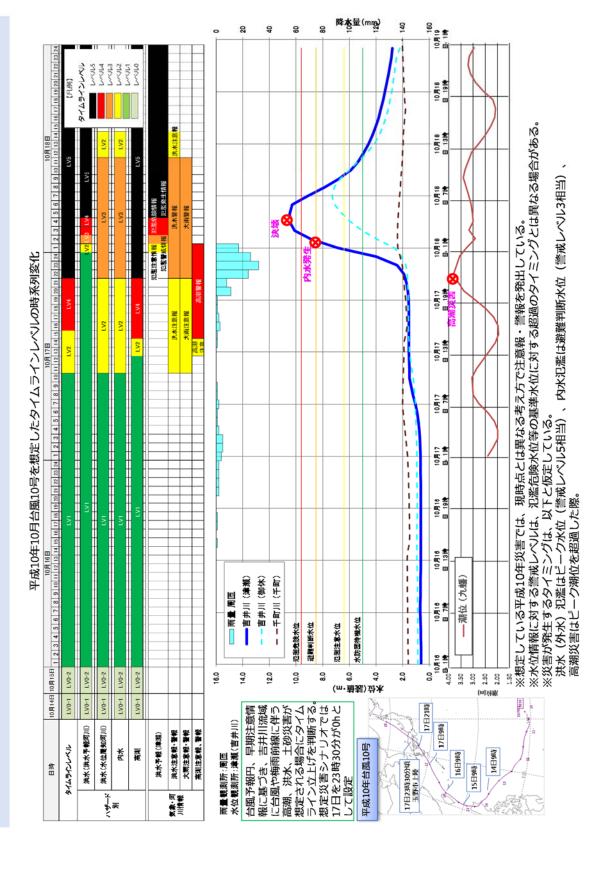




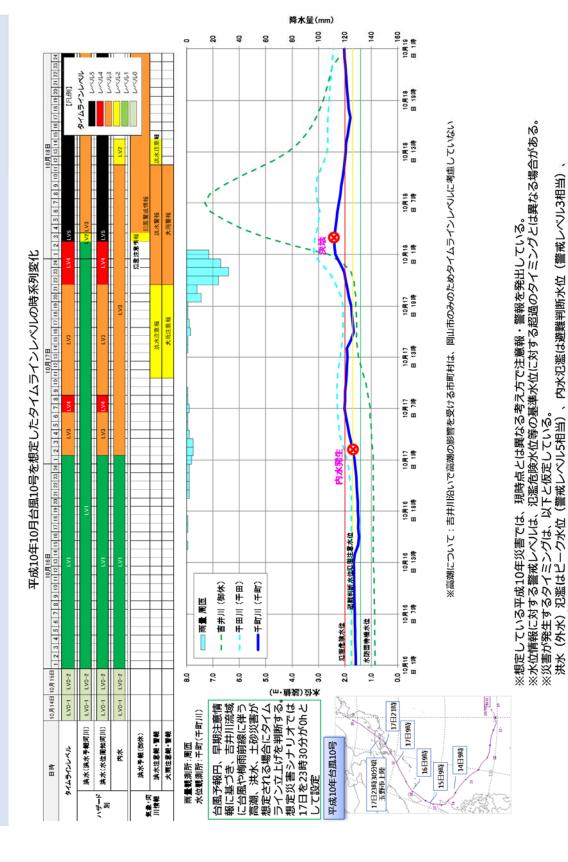
タイムライン解説版、詳細版、運用方法へ反映

巻末資料:想定災害シナリオ

想定災害シナリオ(岡山市)

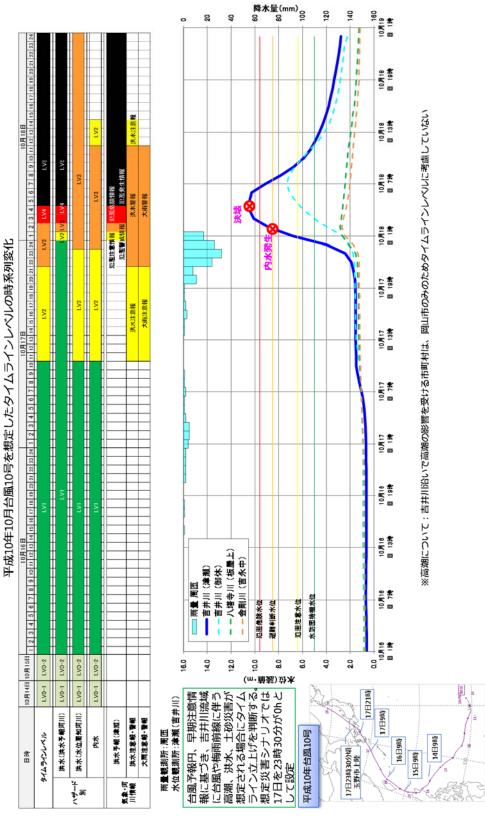


想定災害シナリオ(瀬戸内市)



高潮災害はピーク潮位を超過した際。

想定災害シナリオ(備前市)



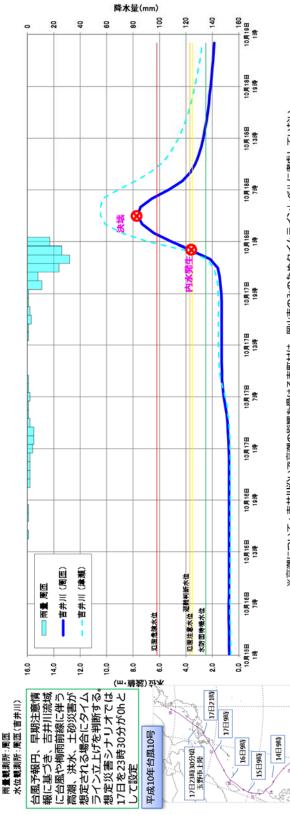
※水位情報に対する警戒レベルは、氾濫危険水位等の基準水位に対する超過のタイミングとは異なる場合がある。 ※災害が発生するタイミングは、以下と仮定している。 洪水(外水)氾濫はピーク水位(警戒レベル5相当)、内水氾濫は避難判断水位(警戒レベル3相当)、

高潮災害はピーク潮位を超過した際。

※想定している平成10年災害では、現時点とは異なる考え方で注意報・警報を発出している。

想定災害シナリオ(赤磐市)





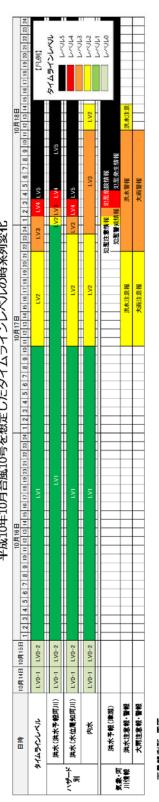
※同郷にしいて:古井川沿いで高潞の影響や受ける市町村は、岡山市のみのためタイムラインアベンに羌橋していない

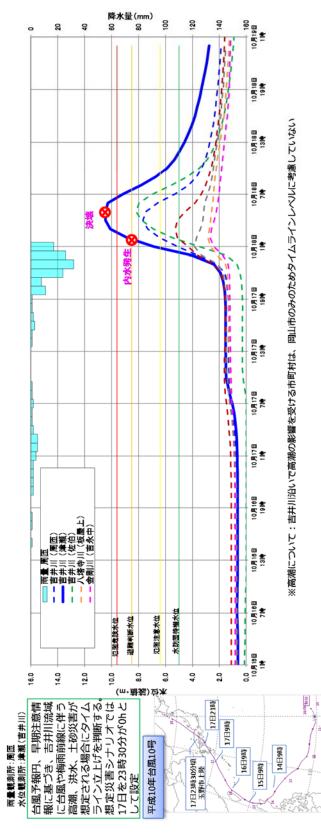
※想定している平成10年災害では、現時点とは異なる考え方で注意報・警報を発出している。 ※水位情報に対する警戒レベルは、氾濫危険水位等の基準水位に対する超過のタイミングとは異なる場合がある。 ※災害が発生するタイミングは、以下と仮定している。 洪水(外水)氾濫はピーク水位(警戒レベル5相当)、内水氾濫は避難判断水位(警戒レベル3相当)、

高潮災害はピーク潮位を超過した際。

想定災害シナリオ(和気町)

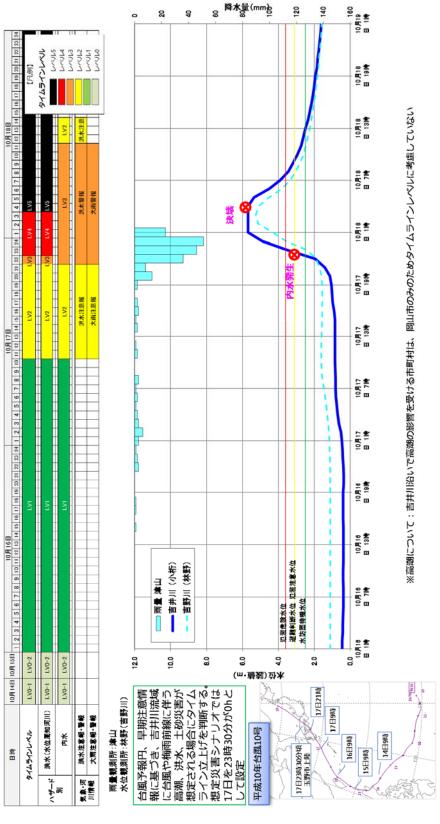
平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化





想定災害シナリオ(美咲町)

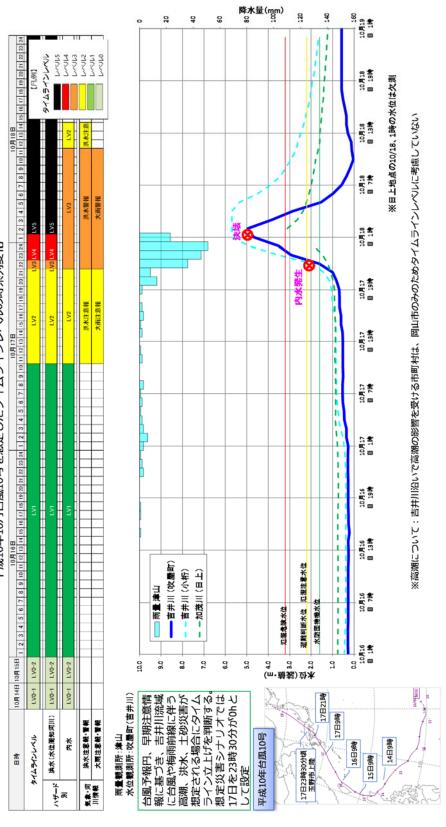
平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化



見している平成10年災害では、現時点とは異なる考え方で注意報・警報を発出している。

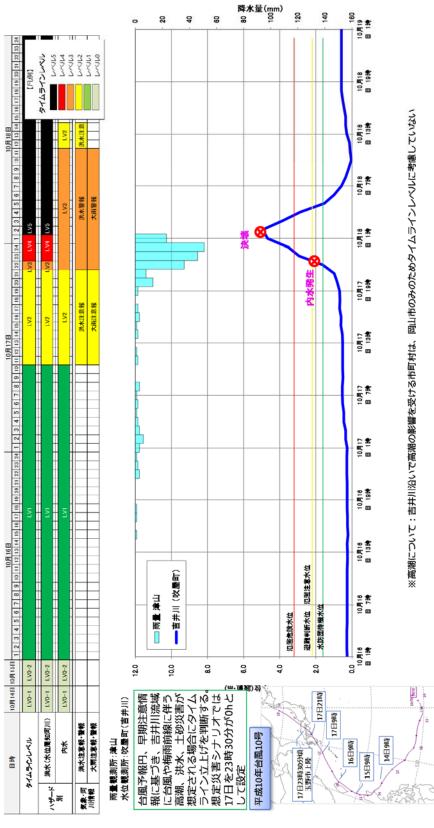
想定災害シナリオ(津山市)

平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化



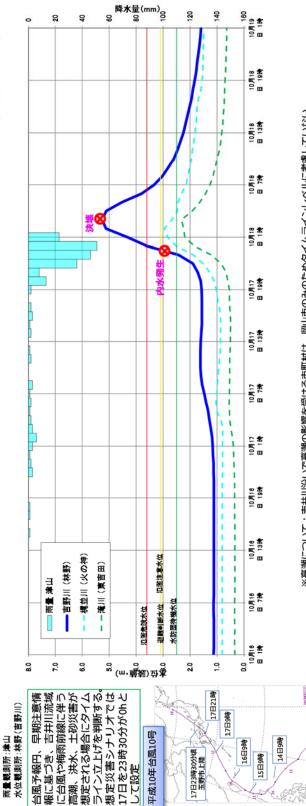
想定災害シナリオ(鏡野町)

平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化



想定災害シナリオ(美作市)

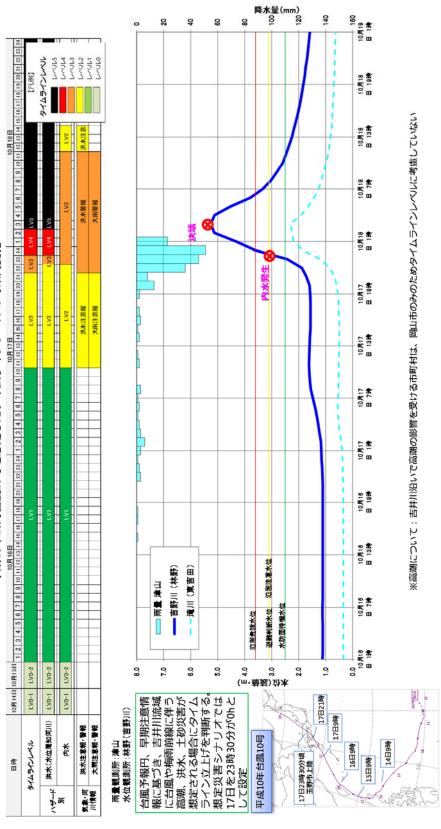
[月例] 10月18日 洪木警報 大雨警報 LV5 平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化 共木注意報 大雨注意報 LV2 10月16日 10月15日 123456789101121314 LV0-2 LV0-2 LV0-2 LV0-1 LV0-1 LV0-1 策夫(未位置名河川) 洪大洋美觀·聯勸 大雨注意報·警報 タイムしたソフネブ 不 盤田



※馬遜について:古井川沿いで高遜の影響を受ける市町村は、国山市のみのためケイムϋイソアペンにも慮していない

想定災害シナリオ(勝央町)

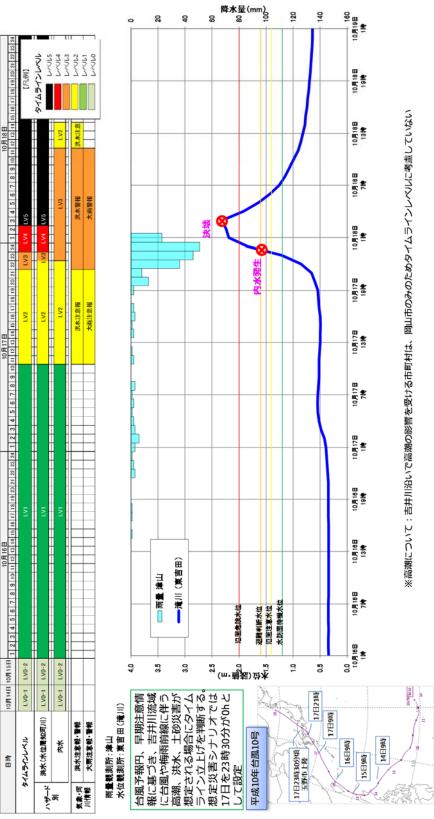
平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化



宁!了112 亚茚10在《雷河什》用阵片 214 围状又 李马士为计普和,整起 4 数型 1 7 1 1 2

想定災害シナリオ(奈義町)

10 F 18 E 10月11日 11 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 6 7 8 9 10 平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化 LV2 LV0-1 LV0-2

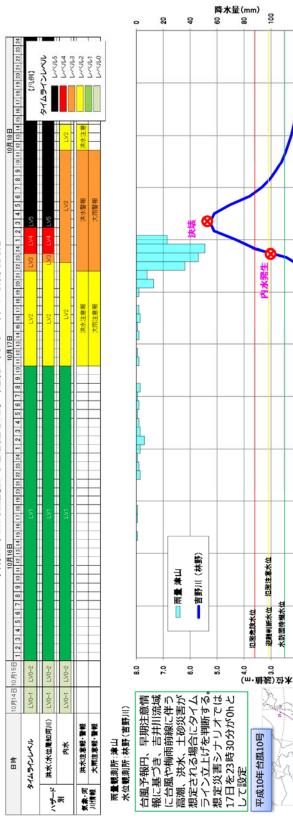


※想定している平成10年災害では、現時点とは異なる考え方で注意報・警報を発出している。 ※水位情報に対する警戒レベルは、氾濫危険水位等の基準水位に対する超過のタイミングとは異なる場合がある。 ※災害が発生するタイミングは、以下と仮定している。 洪水(外水)氾濫はピーク水位(警戒レベル5相当)、内水氾濫は避難判断水位(警戒レベル3相当)

高潮災害はピーク潮位を超過した際。

想定災害シナリオ(西粟倉村)

平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化



※高絶にしいて: 古井川沿いで高路の影響や受ける市町村は、 国山市のみのためタイム リイソア ぐいに 地震 していない

10月19日

19月18日

10月18日

10月18日

10月17日 19時

10月17日

10月17日

10月17日

10月16日

10月16日 13時

10月16日 7時

0.0 10月16日 11時

14日9時

2.0 5

17日21時

17日23時30分頃 玉野市上陸

17日9時

16日9時 15日9時

120 140

※想定している平成10年災害では、現時点とは異なる考え方で注意報・警報を発出している。
※水位情報に対する警戒レベルは、氾濫危険水位等の基準水位に対する超過のタイミングとは異なる場合がある。
※災害が発生するタイミングは、以下と仮定している。
洪水(外水)氾濫はピーク水位(警戒レベル5相当)、内水氾濫は避難判断水位(警戒レベル3相当)、

高潮災害はピーク潮位を超過した際。

想定災害シナリオ(吉井川全域)

 10月14日

 10月14日

 10月15日

 10月15日

 10月16日

 10月16日

 10月16日

 10月17日

 10月18日

 <td LV4 LV5 LV4 LV5 LV5 LV5 LV5 LV5 LV5 LV3 LV3 平成10年10月台風10号を想定したタイムラインレベルの時系列変化 LV3 LV3 LV4 LV3 LV3 LV3 LV3 LV3 LV2 LV3 LV2 LV3 LV0-1 LV0-2 西粟倉村 瀬戸内市 国工市 備前市 赤磐市 和気町 美咲町 十二十 鏡野町 美作市 聯央町 杂義町 出口